

SAFONIKHUYA



燃えさかるベルリンに
だれも知らない
女だけの戦場があった
ナチス第三帝国の
壮大華麗な
狂気と頹廢!!



ヘルムート・バーガー◆
イングリッド・チューリン◆
テレサ・アン・サボイ◆
ティナ・オーモン◆
ベキム・フェーミュ◆
ジョン・アイアランド◆

サロンのキティ

鬼才ティント・プラス監督作品◆製作ジュリオ・スバリシア/エルマンノ・ドナティ◆撮影シルバーノ・イポリッチ◆音楽フィオレンツォ・カプリ
脚本ティント・プラス/マリア・ピア・フスコ/エンニオ・デ・コンチーニ◆〈カラー作品〉成人映画 伊・独・仏合作映画◆配給/東映株式会社



サロン・キティ

SALON KITTY

◆スタッフ◆

製作.....ジュリオ・スバリア
 監督.....エルマンノ・ドナティ
 監修.....ティント・プラス
 脚本.....マリア・ピア・フスコ
 原案.....エンニオ・デ・コンチーニ
 撮影.....シルバーノ・イボリッチ
 音楽.....フィオレンツォ・カプリ

◆キャスト◆

出演.....ヘルムート・バーガー
 イングリッド・チュリン
 テレサ・アン・サボイ
 ティナ・オーモン
 ベキム・フェーミ
 ジョン・アイランド

かいつ

第一次大戦下のベルリン、世界支配をめざす第三帝国の抬頭と衰亡。女たちの館へサロンのキティンにも、ナチス・ドイツの野心と陰謀が渦を巻き、壮麗にして狂気の類魔が足を立てて忍びよってきた。

「地獄に堕ちた勇者ども」から10年、真紅の血で描かれた狂乱怒濤のレクイエムが、ふたたび目もくらむ映像美の中によみがえった。全ヨーロッパで、上映されるやいなや、シヨッキングな画面の連続、それを覆く重厚な美しさが、轟然たる話題を呼びおこした作品である。

物語は、1939年8月のベルリンを舞台に、はじまる。人々は、ひたひたと押し寄せ、戦争突入の無気味な足音に、不安を隠し、愛欲と倒錯と退廃の日々に酔いしれていた。ナチスの将校バレンベルグ（ヘルムート・バーガー）は、ステイテル司令官から、ある命令を受けた。「女が20人必要だ。美人で頭が良く、何よりも熱烈な国家社会主義者を集めるのだ。ヒトラー総統のためには、何でもする女を見つけてこい」

映画館や水族館で、次々と美貌の女たちがスカウトされ、訓練がはじまった。バレンベルグは、女たちの中にかねてから思いを寄せていた貴族の娘マルグリタ（テレサ・アン・サボイ）を発見し、驚く。ナチスを盲信しているマルグリタは、バレンベルグに抱かれながらも、その眼は冷たく彼を拒否していた。

9月、ドイツはポーランドに進攻し、第二次世界大戦の火ぶたが切られた。女主人キティ（イングリッド・チュリン）が切回す、軍人や各界の有名人がお忍びでやってくる「サロン・キティ」に、バレンベルグはのりこみ、彼らの秘密を女たちにスパイさせることにより、権力を掌握しようとする。女装好きの将軍、マゾの将校、サティスティックに女を責める軍人、めくるめく倒錯世界の中に、時代を鋭く照射する類魔とエロスが、格調高く、くりひろげられる、これは、崩壊するドイツの運命を耽美的に描破した画期的な芸術大作である。

製作は、ジュリオ・スバリア、エルマンノ・ドナティ、監督は、「カリギュラ」の鬼才、ティント・プラス、脚本は、マリア・ピア・フスコ、エンニオ・デ・コンチーニ（「ヒ

トラー帝国最後の日」、それにプラス監督自身の3人が共同で執筆したオリジナル、撮影は、シルバーノ・イボリッチ（「死刑台のメロディ」、音楽は、フィオレンツォ・カプリ）（「楡の木陰の愛」という顔ぶれである。出演者も、オーストリア生れの名優ヘルムート・バーガー（「地獄に堕ちた勇者ども」）「家族の肖像」「ルードウィヒ」、スウェーデンの代表的女優イングリッド・チュリン（「沈黙」「地獄に堕ちた勇者ども」）「叫びとさやき」、イギリスの新人女優テレサ・アン・サボイ（「カリギュラ」）、イタリア映画界で活躍する名女優ティナ・オーモン（「わが青春のフロレンス」「カサノバ」、ユーゴスラヴィアの異色俳優ベキム・フェーミ（「ジプシーの唄をきいた」「冒険者」と文字通り国際的スケールをきわめ、いずれも名優、ベテランぞうで最高の演技をきそつていく。衝動的な画面の中に、映画の持つ娯楽性を最大限に盛り込み、力強い演出で見る者を打ちのめさずにはおかない、雄大な構想的傑作が、ついに登場する。

監督 ティント・プラス



ヘルムート・バーガー

1933年ミラノ生まれ。家はベネチアの名門で父は弁護士。映画に情熱を持ち、パリのシネマテークに通い、トリュフォーやゴダールらと知り合う。「革命の河」「危険な恋人」「カリギュラ」などで異色の映画作家として知られる。

1944年オーストリアのザルツブルグ生まれ。レストラン王の子として育ち、ウィスコンティ監督に見出されてスターとなる。地獄に堕ちた勇者ども」「悲しみの青春」「雨のエトランゼ」「家族の肖像」「ルードウィヒ」などが代表作である。

イングリッド・チュリン



テレサ・アン・サボイ



1929年スウェーデンのソルフトオー生まれ。王立ドラマ劇場付属俳優学校を卒業後、「野いちご」「沈黙」「叫びとさやき」のベルイマン作品で、国際的女優としての地位を築く。「地獄に堕ちた勇者ども」でも熱演。

1954年ロンドン生まれ。ローマに渡り、ファッツジョン・モデルタリアー人の監督に見出され、女優になる。「少女」「悪徳と快楽」（ともに未公開）に出演。「カリギュラ」では、姉ドルシラを演じた。

ティナ・オーモン



ベキム・フェーミ



1946年カリフォルニア生まれ。父親は、フランス映画の代表的二枚目ジャン・ピエール・オーモン、母親は女優マリア・モンテスという毛並の良さ。代表作として「獲物の分け前」「わが青春のフロレンス」「カサノバ」などがある。

1936年ユーゴスラヴィア生まれ。両親はアルバニア人。ベオグラードの演劇学校を経て、「ジプシーの唄をきいた」で世界的に認められ「冒険者」「デザンター」「メリー・ゴランド」などで、高い評価を受ける。

TOEI CINEMA CIRCUIT

伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F

新宿東映ホール

(351) 3022

特別鑑賞券発売中！

¥1,100 (当日一般1400円 大学1200円 の処)

■上映時間■ 連日 11:30 1:55 4:20 6:45

近日 特別ロードショー